

令和8年
11月2日（月）
第6号

『恩返し』と『恩送り』

11月は今年度2回目の「ふれあい月間」です。人との関わり方を見直して、みんなが心地よく過ごせる空間を作っていけると良いと思います。

☆人として大切にしていること☆

ところで、みなさんは「人として大切にしていることは何ですか」という質問をされたら何と答えますか？私は「義理と人情です」と答えていました。ところがこの表現が昔風で、今の中学生のみなさんには馴染みのない表現のようで、これを言うと？？？という表情の人が多いので、最近は相手によっては同じような内容で伝わりやすい言葉という思いで「優しさと恩返しです」と答えています。

つまり「人に優しく接すること」と「自分に親切にしてくれた人やお世話になった人には、感謝の言葉や行動を返す」ということです。

☆『恩送り』とは☆

『恩返し』という言葉は聞いたことがありますが『恩送り』という言葉は聞いたことはあるでしょうか？『恩返し』とは、上にも書いたように自分に親切にしてくれてた人に感謝の気持ちや行動を返すというものです。では『恩送り』とはどのようなことでしょうか。『恩返し』と何が違うのでしょうか。『恩送り』とは誰かから受けた親切や善意を、その人に直接返すのではなく別の誰かに渡していくことです。『恩返し』が親切にしてくれた人と親切にされた人の1対1の関係性であるのに対し『恩送り』はAさんがBさんへ、BさんはCさんへと親切のバトンを社会の中でつないでいくというのが『恩送り』であり『恩返し』と違うところです。

☆身近にあった『恩送り』☆

私が大泉西中学校で経験した『恩送り』の体験談です。私は自転車で通勤することが多く、朝、学校に着くと閉まっている門を開け、自転車を校内に入れ開けた門を閉めるという流れがあります。ある朝いつもと同じように学校に着くと校内に先についた職員の方が自転車を置いているところでした。私は門を開け、自転車を校内に入れ、その方に挨拶をして、それから門を閉めようとしたところ、その方が私が開けた門を閉めようとしてくれました。私は自分が開けた門なので『自分で閉めます』と言ったところその方は笑顔で「私も先ほど校長先生に閉めてもらいましたので」と言って私が開けた門を閉めてくれました。私は「ありがとうございます」とお礼の言葉を言うと同時に何とも暖かな気持ちになりました。今考えるとこれはまさに『恩送り』による行動だと思います。

『恩送り』は人の気持ちを温かくすると同時に誰かにその恩を送りたいと思う気持ちをもたせてくれる心地よい空間づくりに役立つ行動ではないでしょうか。

この機会にどんな小さなことでもよいと思います。『恩送り』してみませんか。

（文責　齋藤　元）

